



【2026・2027 年度 入試対策】自由英作文 予想問題

全 5 分野・16 テーマ

2026・2027 年度 入試トレンドの分析

2024～25 年度入試（東大・早慶・GMARCH・地方国公立）の出題傾向を分析すると、「現実の社会課題への自分の意見+根拠」を問う形式が主流となっており、単なる知識ではなく**論理的構成力・多角的視野・具体的な根拠提示力**が問われている。

特に①生成 AI・デジタル社会、②気候変動・SDGs、③少子高齢化・社会保障、④メンタルヘルス・医療、⑤ジェンダー・多様性、⑥グローバル化・国際関係の各分野は、日本と世界が直面するリアルタイムの課題として必ず理解しておく必要がある。

採点者が最も評価するのは（1）第 1 文での立場の明示、（2）因果関係を明示した理由づけ、（3）相手側への配慮（譲歩構文）、（4）具体的な事例・数値・固有名詞の活用の 4 点である。

収録テーマ一覧

▶ テクノロジー・情報社会

- ・No.1 生成 AI の教育・職業への影響
- ・No.2 SNS 規制とフェイクニュース・表現の自由
- ・No.3 デジタルデバイドと情報格差
- ・No.4 プライバシーと監視社会（顔認証・ビッグデータ）

▶ 環境・気候変動・SDGs

- ・No.5 気候変動対策：政府・企業・個人の責任
- ・No.6 プラスチック汚染・海洋環境問題
- ・No.7 食料安全保障・フードロスと SDGs

▶ 医療・福祉・健康

- ・No.8 高齢化社会と介護・医療費問題
- ・No.9 メンタルヘルスと現代社会（若者・SNS 問題）
- ・No.10 感染症対策とパンデミック後の公衆衛生

▶ 教育・働き方・社会制度

- ・No.11 少子化対策と子育て支援政策
- ・No.12 リモートワークと働き方・職場の未来
- ・No.13 大学教育の意義と高等教育の無償化

▶ グローバル化・多様性・国際関係

- ・No.14 移民・難民問題と多文化共生
- ・No.15 ジェンダー平等と女性活躍推進
- ・No.16 英語教育のグローバル化と文化的アイデンティティ

※ 難易度表記：難関＝国公立・難関私大向け 標準＝中堅私大・共通テスト向け



① テクノロジー・情報社会

1

生成 AI の教育・職業への影響

難関～標準

② 予想問題 (英文)

Generative AI tools such as ChatGPT are rapidly transforming the way people learn and work. Some argue that schools should integrate AI into everyday lessons, while others warn that overdependence on AI may harm students' ability to think independently. Do you think educational institutions should actively encourage the use of generative AI? State your opinion clearly and support it with **two specific reasons**. (Approx. 80–100 words)

③ 問題の和訳

ChatGPT などの生成 AI ツールは、人々の学び方・働き方を急速に変えつつある。学校は AI を日常授業に組み込むべきだと主張する人もいれば、AI 依存が生徒の自立的思考力を損なうと警告する人もいる。あなたは、教育機関が生成 AI の使用を積極的に奨励すべきだと思うか。意見を述べ、**具体的な理由を 2 つ**挙げなさい。(約 80～100 語)

④ 解答方針 (アプローチ)

【賛成論】①情報収集・整理の効率化により深い学習に時間を充てられる ②AI リテラシーは 21 世紀の必須スキルであり早期習得が有利

【反対論】①批判的思考・創造力の低下 ②剽窃リスク・評価の公平性が損なわれる

【採点ポイント】立場を第 1 文で明示し、「どのような状況でどう活用するか」の条件設定 (with clear guidelines / under teacher supervision) を加えると加点事由。相手側の懸念に 1 文触れる譲歩構文 (While some worry that..., I believe...) を使うとよりよい。

⑤ Key Expressions

foster independent thinking

自立的思考を育む

undermine academic integrity

学問的誠実さを損なう

enhance learning efficiency

学習効率を高める

AI literacy

AI リテラシー・AI 活用能力

with appropriate guidelines

適切な指針のもとで

メモ欄



13

大学教育の意義と高等教育の無償化

標準～難関

② 予想問題 (英文)

The cost of higher education has risen significantly in many countries, leading some to question whether a university degree is still a worthwhile investment. Some advocate for making higher education free or heavily subsidized by the government, while others argue that students should bear the cost themselves. Do you think higher education should be free for all students? State your view and provide **two specific reasons**. (Approx. 80–100 words)

③ 問題の和訳

多くの国で高等教育のコストが大幅に上昇し、大学の学位がまだ価値ある投資かどうかを疑問視する人も出てきている。政府が高等教育を無償化または大幅に補助すべきだと提唱する人もいれば、学生自身がコストを負担すべきだと主張する人もいる。すべての学生に対して高等教育は無償であるべきか。具体的な理由を2つ挙げて意見を述べなさい。(約80～100語)

④ 解答方針 (アプローチ)

【無償化支持】①経済的背景による教育機会の不平等を解消し、社会的流動性を高める ②高度人材の育成が国全体の経済成長に寄与(社会的投資)

【反対・慎重論】①財源確保の困難(税負担増)・教育の質低下リスク ②受益者負担の原則・奨学金制度の充実で代替可能

【採点ポイント】「無償化 vs 奨学金拡充」という代替案の比較が論を深める。ドイツ・北欧の事例(無償化) vs アメリカ(学生ローン問題)など対照的事例の引用も有効。

⑤ Key Expressions

social mobility

社会的流動性・階層移動

equal access to education

教育への平等なアクセス

tuition fees

授業料・学費

return on investment

投資収益率・費用対効果

student debt burden

学生ローンの負担

📌 メモ欄